

公共施設マネジメント推進について

～ 将来世代に負担を先送りすることなく、
より良い資産を次世代に引き継いでいくために ～

令和2年3月18日

総務部 公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課



まんがでわかる！
公共施設マネジメントに登場する
長野家のネコ「ミーコ」

1-1 地区別ワークショップ・懇談会の開催について

公共施設マネジメント推進には、市民の皆さまの御理解と御協力が不可欠。長野市の現状や課題等を市民の皆さまと共有し、共通認識に立つことが重要であることから、市民合意形成を図る取組を進めてきた

1 出前講座

- ・「公共施設マネジメント指針」の概要について、平成27年9月～平成28年7月に説明(計814名出席)
- ・「公共施設等総合管理計画」の概要について、平成29年1月～平成30年1月に説明(計1,026名出席)

2 市民ワークショップ等

- ・平成28年度 芋井地区(モデル地区) ⇒ 以後3年間で全地区開催を目指すことに
- ・平成29年度 篠ノ井、松代、七二会、朝陽、浅川、信州新町、大岡の7地区でWS開催
8地区でのWS開催を踏まえて
- ・平成30年度 ⇒ WS手法に限定せず、各地区の状況に応じた方法で意見交換を行うことに
戸隠、信更、豊野、若槻、鬼無里の5地区でWS開催。第五、第三、柳原の3地区で懇談会形式で開催
- ・令和元年度 中条、吉田の2地区でWS開催。小田切、芹田、若穂、三輪、第四、大豆島、更北、川中島、第一、第二、安茂里、古牧、古里の13地区で懇談会形式で開催 (※長沼は災害の影響で中止)

・地元負担感やWS開催の必要性に対する疑問
・事業化に時間がかかる
・市の計画を示すべき等

◇各地区でいただいたご意見等は、「個別施設計画」を検討する際の参考にさせていただきます

上記のほか「ニュースレター」の発行、「市民シンポジウム」「出前授業」の開催、「清泉女学院大学との連携プロジェクト」などにも取り組んでいる

1-2 平成29年度地区別WS開催状況

地区	開催日程・内容等	参加人数計 878人
篠ノ井	8月6日～9月23日(4回) 「南部図書館、こども広場」等、篠ノ井駅周辺の公共施設再配置について検討 ※前橋工科大学堤准教授のBaSSプロジェクトの共同研究事業として実施	討議参加のべ134人
朝陽	9月17日～11月18日(3回) 支所・公民館の建替え整備について関心が高い。 支所・公民館に対するワークショップの意見は、地元の整備検討委員会に引き継ぐ	討議参加のべ101人
七二会	10月16日～12月4日(3回) 支所の建替え整備について関心が高く、JAの意向も踏まえて引き続き検討していく	討議参加のべ110人
浅川	11月11日～2月24日(2回) 浅川地区の公共施設再配置について、地区役員で話し合うWS	討議参加のべ82人
信州新町	11月12日～1月13日(4回) 公募メンバー+区長中心。中学生、高校生もメンバーに加わる 「博物館・美術館活性化」及び「小学校の老朽化対策」は別途検討	討議参加のべ115人
松代	11月26日～1月21日(4回) 支所周辺の中心部の検討と、小学校を中心とした周辺部の検討を実施 松代荘及び周辺整備については別途検討中	討議参加のべ180人
大岡	12月9日～2月11日(5回) 小さな拠点のモデル地区であり、都市政策課と連携して開催 第1回は共通で、2・3回は「小さな拠点づくりについて」を中心に、4・5回は「公共施設」を中心に考えるワークショップ	討議参加のべ156人

1-3 平成30年度地区別WS等開催状況

地区	開催日程・内容等	参加人数計553人
戸 隠	6月10日～8月19日(3回) ワークショップ形式 地区の活性化、暮らしやすい地区にするための公共施設再配置を中心に検討	討議参加のべ 90人
信 更	6月17日～8月26日(3回) ワークショップ形式 地区の活性化、暮らしやすい地区にするための公共施設の使い方を中心に検討	討議参加のべ 89人
第 五	6月27日 懇談会形式 各区から参加者を募り市から公共施設マネジメントについて説明し、意見交換を実施	参加 20人
第 三	7月13日・11月9日(2回) 区長との懇談会形式 第1回は市から公共施設マネジメントの説明を中心に実施 第2回は、各区長と地区内の公共施設のうち、集会施設を中心に意見交換を実施する	参加のべ 26人
豊 野	7月28日～9月15日(3回) ワークショップ形式 地区の活性化、暮らしやすい地区にするための公共施設再配置を中心に検討	討議参加のべ 89人
若 槻	9月8日～11月11日(4回) ワークショップ形式 これからの地区に必要な活動を行うための施設を、支所・公民館の将来を中心に検討	討議参加のべ 99人
鬼無里	11月17日～1月26日(3回) ワークショップ形式 地区の活性化、暮らしやすい地区にするための公共施設再配置を中心に検討	討議参加のべ104 人
柳 原	1月27日 懇談会形式 地区協議員に公共施設マネジメントについて説明し、意見交換を実施	参加 36人

1-4 令和元年度地区別WS等開催状況

地区	開催日程・内容等	参加人数計555人
小田切	6月13日 懇談会形式 公共施設マネジメントについて説明し、意見交換を実施	参加 19人
芹田	6月14日 懇談会形式 //	参加 7人
若穂	6月19日 懇談会形式 //	参加 47人
三輪	6月25日 懇談会形式 //	参加 26人
第四	7月23日 懇談会形式 //	参加 8人
大豆島	7月24日 懇談会形式 //	参加 42人
更北	7月26日 懇談会形式 //	参加 99人
中条	8月20日～10月24日(3回) ワークショップ形式 まちづくりにつながる公共施設の使い方を中心に公共施設の将来像を検討	討議参加のべ 71人
川中島	9月9日 懇談会形式 公共施設マネジメントについて説明し、意見交換を実施	参加 27人
第一	9月18日 懇談会形式 //	参加 20人
第二	9月20日 懇談会形式 //	参加 20人
安茂里	10月9日 懇談会形式 //	参加 38人
古牧	11月13日 懇談会形式 //	参加 48人
吉田	11月16日 ワークショップ形式 事前アンケート結果を基に参加者による意見交換ワークショップを実施	参加 51人
古里	1月15日 懇談会形式 公共施設マネジメントについて説明し、意見交換を実施	参加 32人

1-5 地区別WS・懇談会の総括

➤参加者数

○H28年度の芋井地区(98人)からR元年度までにトータル2000人を超える市民に参加いただき、地域の公共施設について考えていただいた

- ・ワークショップ形式＝ 芋井地区を含め、15地区で49回開催、のべ1,569人が参加
- ・懇談会形式＝ 16地区で17回開催、のべ515人が参加

➤参加者アンケート結果

○「公共施設に対する考え方は変わりましたか。」という問いに対し、「変わった」、「やや変わった」と回答した参加者の割合

・「変化した」と「やや変化した」の合計は57%

・ワークショップに限ると、参加者の7割が意識が変化したと回答

○「ワークショップに参加して良かったですか」という問いに対し、「とても良かった」、「良かった」と回答した参加者の割合

・「とても良かった」と「良かった」の合計は89%

○懇談会の参加者の場合は、7割以上が懇談会全体の内容が有意義と回答

➤過年度ワークショップ開催地区へのヒアリング

○令和元年9月～令和2年1月にかけて、平成29年度、30年度にワークショップを開催した12地区を訪問し、支所長、住民自治協議会役員等にヒアリングを実施。

【主な意見】

- ・ワークショップを開催しても、実際の施設が変わらないので何のためにやったのか。
- ・ワークショップでは楽しく夢を語ったが、そこで出された提案を現実に進めていくための仕組みが必要。
- ・地区内にどんな公共施設があるのか分かったのは成果。・住民主体の地域づくり活動につながった(鬼無里)。

2-1 公共施設の災害復旧

照会の概要

● 目的

令和元年台風第19号災害により被災した公共施設の恒久的な復旧・復興の際に、公共施設マネジメントの視点による検討が必要と考えているため、近年の水害により被災した自治体における公共施設の復旧・復興方法と公共施設マネジメントの取組み状況を調査したもの

● 調査自治体

平成29年九州北部豪雨、及び、平成30年7月(西日本)豪雨災害で被災した24市に照会
→ うち、15市より回答

北九州市、嘉麻市、日田市、宿毛市、福山市、尾道市、竹原市、庄原市、三原市、江田島市、広島市、倉敷市、井原市、八幡浜市、松山市

● 調査内容

問1 床上浸水以上の被害を受けた公共施設(インフラを除く)の有無

問2 被害状況【全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊・床上浸水】

問3 復旧・復興方法【建替え等・全面改修・一部改修・解体】

問4 被災施設における公共施設マネジメントの取組み状況

① 複合化・集約化して建替え等の具体例について

② 増減面積について

2-2 公共施設の災害復旧

回答の結果

被災施設なし＝嘉麻市、宿毛市、尾道市

調査内容		回答結果		計
1 床上浸水以上の被害を受けた公共施設の有無	有	12 市	15 市	
	無	3 市		
2 被害状況	全壊	24 棟	131 棟	
	大規模半壊	1 棟		
	半壊	2 棟		
	一部損壊	24 棟		
	床上浸水	80 棟		
3 復旧・復興方法	建替え等	4 棟	97 棟	
	全面改修	17 棟		
	一部改修	71 棟		
	解体	5 棟		
4 被災施設の公共施設マネジメント取組み状況	建替え等	複合化	0 棟	4 棟
		集約化	0 棟	
		単独建替え	4 棟	
	解体	縮減面積	-35 m ²	-303 m ²
		縮減面積	-268 m ²	

■ 設計者、施工者及び運営者の選定結果

・応募グループ数:4グループ

・決定までの経過

令和元年10月4日 募集要項の公表(公告)

12月3日 企画提案書提出期限

令和2年 1月7日 審査委員会による選定

1月10日 交渉権者及び次点者の決定

1月14日 公表

2月1日 報告書公表

・交渉権者 : eternal(エターナル)グループ

(選定者)

代表者(施工者) 千広建設株式会社

構成員(設計者) 新日本設計株式会社

構成員(運営者) eternal story株式会社



交渉権者の提案した建物外観パース

・次点者 : 飯綱高原「MORI活」グループ

代表者(施工者) 北野建設株式会社

構成員(設計者) 株式会社アーキプラン

構成員(運営者) 飯綱高原「MORI活」共同企業体

(合同会社信州飯綱高原、株式会社タカチホ、株式会社藤屋)

■ 交渉権者の企画提案概要

○施設整備概要 (技術提案であり今後変更がある)

- ・山の駅 敷地:2,850㎡ 床面積:約920㎡ (グローサレント棟:約460㎡、アクティビティ棟:約460㎡)
- ・キャンプ場 既存バンガロー解体デイキャンプサイト整備、既存炊事場一部解体及び新設、既存ログキャビンデッキスペース設置 等
- ・駐車場 既存駐車場拡張 (113台⇒184台 大型用2台含む)

○新たな事業者による運営期間

- ・山の駅 令和4年4月～令和13年3月
- ・キャンプ場 令和3年4月～令和13年3月

■ 長野市PFI事業等審査委員会の審査経過

	開催日	主な審査内容等
第1回	令和元年7月18日	委員委嘱 委員会の運営及び審査対象事業の概要について
第2回	令和元年8月23日	山の駅整備予定地等の現地視察 飯綱高原観光施設活用検討会について
第3回	令和元年9月12日	募集要項及び要求水準書(案)について
第4回	令和元年9月17日	交渉権者の選定方法及び審査基準(案)について
第5回	令和元年12月17日	企画提案書の審査 (書類審査による中間評価)
第6回	令和2年1月7日	提案4グループによるプレゼンテーション及びヒアリング 審査・選定(優先交渉権者及び次点者)

4-1 インフラ施設の個別施設(長寿命化)計画策定状況 R2.2現在

(1) 道路・橋りょう(市道)

対象施設	計画名称	計画期間(策定期期)	担当課
舗装 (幹線道路及び 重要路線、227路線)	舗装長寿命化修繕計画	第一期 H27～30年度(H27年3月) 第二期 H30～R3年度(H30年3月) ※元年度中に 計画対象路線見直し予定	維持課
横断歩道橋 (11橋)	公共施設等総合管理計画 (横断歩道橋修繕事業)	道路ストック総点検 H26～30年度 (H26年8月) 修繕計画 H29～R3年度(R2年3月)	維持課
トンネル (2カ所)	公共施設等総合管理計画 (トンネル修繕事業)	第二期工事 H30～R4年度 (R3年3月)	維持課
大型カルバート (8カ所) シェッド(5カ所)	公共施設等総合管理計画 (大型カルバート・シェッド修繕事業)	カルバート修繕 H30～R4年度 (H30年9月) シェッド修繕 H30～R4年度 (R2年4月)	維持課
門型標識 (14カ所)	公共施設等総合管理計画 (門型標識修繕事業)	道路ストック総点検 H26～30年度 (H26年8月) 修繕計画 H31～R5年度 (R3年3月)	維持課
道路橋りょう (橋長2m以上: 1738カ所)	長野市橋りょう長寿命化修繕計画	第一期 H26～30年度 (H25年3月) 第二期 H31～R5年度 (R元年5月)	維持課

4-2 インフラ施設の個別施設(長寿命化)計画策定状況 R2.2現在

(2) 上下水道

対象施設	計画名称	計画期間(策定期期)	担当課
水道管(2457km) 水源(57カ所) 浄水場(19カ所) 配水池(256カ所) ポンプ場(126カ所)	長野市水道施設整備計画 (長野地区、その他の地区、旧簡水道5地区)	H29～R48年度 (長野地区:H29年3月 その他地区:R2年3月 旧簡水:R2年3月)	水道整備課
下水道管渠 中央処理分区(17km) 末広・西部処理分区 (50km)	下水道ストックマネジメント計画	中央処理分区:H30～R2年度 (H30年1月) 末広・西部処理分区:R3～R14年度 (H30年1月)	下水道整備課
終末処理場等(5カ所) マンホールポンプ場 (公共121、特環41カ所)	下水道ストックマネジメント計画 (処理場・ポンプ場)	第一期:H31～R4年度 (H31年3月)	下水道施設課
東部終末処理場	長野市東部終末処理場長寿命化計画	第一期:H24～29年度(H24年6月) 第二期:H26～30年度(H26年3月) ※計画完了、ストックマネジメント計画に移行	下水道施設課
安茂里ポンプ場 戸隠高原浄化センター	長野市安茂里ポンプ場・戸隠高原浄化センター長寿命化計画	第一期:H27～31年度(H27年3月) ※安茂里は計画完了、ストックマネジメント計画に移行	下水道施設課

4-3 インフラ施設の個別施設(長寿命化)計画策定状況 R2.2現在

(3) 河川、土地改良施設(農道)、公園

対象施設	計画名称	計画期間(策定期期)	担当課
雨水ポンプ場(13カ所) 排水機場(18カ所)	ポンプ施設改築更新計画	R2～R8年度 (R2年12月)	河川課
水路(受益20ha以上: 284.8km) 頭首工(受益20ha以上: 17カ所) ため池(186カ所) 排水機場(24カ所) 農道(全幅4m以上: 55路線10.2km) 橋りょう(橋長15m以上・全 幅1.8m以上:12カ所)	長野市土地改良施設 インフラ長寿命化計画(行動計画)	H29～R2年度 (H29年3月) ※令和2年度改訂予定	森林農地整備課
農集排処理施設 (21カ所)			下水道施設課
都市公園(189カ所) 園路広場、修景施設、 休養施設、遊戯施設、 運動施設、教養施設、 便益施設、管理施設、 災害応急施設	長野市公園施設長寿命化計画	H26～R6年度 (H27年3月)	公園緑地課

4-4 インフラ施設の個別施設(長寿命化)計画策定状況 R2.2現在

(4) その他施設

対象施設	計画名称	計画期間(策定期期)	担当課
林道 (橋長4m以上:37カ所 トンネル3カ所)	(仮称)林道施設に係る個別施設計画	R3年度～未定 (R3年3月)	森林農地整備課
長野駅庇列柱 (1カ所) 駅自由通路 (4カ所:長野、豊野、 今井、吉田)	公共施設等総合管理計画 (長野駅ビル長期修繕計画)	H27～R7年度(H26年8月) ※令和2年9月改訂予定	維持課
市道 (法面129カ所)	長野市道路防災計画	H29～R3年度(H29年)	道路課